

報道関係者 各位

平成23年10月21日 日本科学未来館

大型映像作品  
**ちきゅうをみつめて**  
平成23年12月7日(水)より一般公開

にっぽんかがくみらいかん

日本科学未来館(館長: 毛利衛 所在地: 東京都江東区青海)では、平成23年12月7日(水)より、大型映像作品「ちきゅうをみつめて」を公開します。「地球環境」をテーマとしたファミリー向けのアニメーション作品です。

地球環境問題は、人類が地球上で生きていくために解決すべき大きな課題のひとつです。その問題を社会全体で議論するためにはまず、全ての生物の生命活動が、どのようなシステムの上で成り立っているのかを共通認識として持つことが重要だと考えます。本作品では、その重要なシステムである「炭素循環」を取り上げます。

「炭素循環」とは、空、海、生物を含む、地球全体での炭素の循環のことで、生命活動を支える最も根本的な仕組みです。大気中の二酸化炭素は、植物に取り込まれ、光合成のはたらきにより植物の体をつくります。植物は、それを食べる他の動物の体をつくる材料となります。人間ももとをたどれば、二酸化炭素に含まれる炭素でできた他の生物からつくられ、最後には微生物に分解されて二酸化炭素となり大気中に戻ります。そうした循環の仕組みが地球に存在していること、地球の生命はすべてこの循環の中にあることを理解することで、地球環境問題にどう対処すべきかを考えるきっかけとなる作品です。

本作品は、科学好きな主人公ナオコの物語。ある日、ナオコは幼なじみのサトルから、宇宙人が地球に調査にやってきていると聞かされます。すると突然、不思議なカメラが2人の目の前に現れ、いくつかの映像を見せ、消え去ります。10年後に再び2人の前に姿を現した謎のカメラが見せた映像には、黄色く光る粒がいろいろな生き物の体を通りながら旅を続ける様子が。光る粒を時折思い出しながら、その粒と自分の関係に徐々に気づいていくナオコ。そして宇宙飛行士になったナオコが、宇宙から地球をみつめた時、これまでの不思議な体験が一つにつながり、大切な真実にとどろきます。

## ■概要■

タイトル 「ちきゅうをみつめて」

公開日 平成23年12月7日(水)～ 平日13:00～、土日祝13:00～、15:00～

場所 日本科学未来館 6階 ドームシアターガイア (住所: 東京都江東区青海2-3-6)

上映時間 約30分

料金 入館料のみ

監修 船岡正光 (三重大学大学院生物資源学研究所 教授)、  
小木哲朗 (慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授)

制作プロデューサー 前田融 (有限会社アニメイノベーション東京)

アニメーション監督 佐土原武之

キャラクター原案 佐藤好春

詩(原案) 覚和歌子

制作協力 日本アニメーション株式会社、合同会社スターライトスタジオ

企画協力 サイエンスドーム八王子 (八王子市こども科学館)、  
道の駅 富士川楽座、徳島県立あすたむらんど

制作 有限会社アニメイノベーション東京

企画制作著作 日本科学未来館



開館時間 午前10時～午後5時 (入館は閉館の30分前まで)

休館日 毎週火曜日、12/28～1/1 (ただし、祝日、春・夏・冬休み期間は開館)

入館料 大人600円、18歳以下 200円 / 団体8名以上 大人480円 18歳以下 160円

※障害者手帳所持者は本人および付き添い者1名まで無料 ※小学校未就学児は無料

※本件に関するプレスリリース、及び関連画像は未来館ホームページよりダウンロードしてご利用いただけます。

URL: <http://www.miraikan.jst.go.jp/press/>

一般からのお問い合わせ先	本件に関するお問い合わせ先
日本科学未来館 TEL:03-3570-9151 FAX:03-3570-9150 URL <a href="http://www.miraikan.jst.go.jp">http://www.miraikan.jst.go.jp</a>	日本科学未来館 事業推進課 プロモーション担当 ( <a href="mailto:press@miraikan.jst.go.jp">press@miraikan.jst.go.jp</a> ) 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL:03-3570-9192 FAX:03-3570-9150